

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事 業 名 博物館環境整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光文化スポーツ部 博物館 総務部管理調整係 電話番号：0575-28-3111(内250)

E-mail : c21804@pref.gifu.lg.jp

1 事 業 費 **239,420 千円 (前年度予算額：** **164,383 千円)**

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳						
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債
前年度	164,383	0	0	0	0	0	0	147,400 16,983
要求額	239,420	0	0	0	0	0	0	215,400 24,020
決定額								

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

○非常用発電設備等改修工事

本館棟は、昭和50年7月の建築以来、50年が経過し、非常用発電設備が経年劣化している。特に非常時には、非常用電源が稼働できない恐れがあるため、県有施設中長期保全計画に基づき、令和8年度非常用発電設備の設置工事を実施する。

○照明器具LED化工事（本館・マイミュージアム棟）

LED照明は、従来の蛍光灯照明と比べ省エネ性能が高いため二酸化炭素排出量削減の一助となり、また、消費寿命が長いため、普及が加速している。企業が製造する照明器具はLED器具への生産切り替えが進み、令和9年末をもって蛍光灯器具の製造は中止される見込みである。そのため、博物館に設置された従来の照明器具からLED照明器具への更新を令和9年度までに計画的に行うことで、永続的な機器の活用と省電力によるコスト削減を図る。

○中央監視制御装置取替工事

当館の中央監視制御装置は、空調設備、電気設備、給排水設備等の情報を一元的に管理しており、情報の蓄積、異常時の警報発信を行う機能を持っている。平成22年の設置から16年が経過しており、経年劣化による突然のシステムダウンのリスクや、不具合による異常探知の不可が想定されることから、県有施設中長期保全計画に基づき、令和8年度中央監視制御装置の取替工事を実施する。

(2) 事業内容

非常用発電設備等改修工事は、令和7年度に設計委託済であり、令和8年度中に工事を施工する。中央監視制御装置取替工事は、令和8年度中に工事を施工する。

照明器具LED化工事については、令和8年度に本館展示スペースとマイミュージアム棟、令和9年度に本館管理スペースにおいて施工する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県単独事業として実施

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細	
委託料	9,500	照明器具LED化工事設計業務委託	9,500
工事請負費	229,920	非常用発電設備等設置工事	86,741
		照明器具LED化工事	90,000
		中央監視制御装置取替工事	53,179
合計	239,420		

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

県有施設中長期保全計画に基づき、計画的に修繕工事、設置工事を実施
長寿命化計画を策定し、計画的にLEDを設置

(2) 国・他県の状況

施設の老朽化対策は全国的な懸案事項となっており、地方公共団体は令和2年度までに個別施設ごとの長寿命化計画を策定することとなっている。

(3) 後年度の財政負担

単年度事業

事 業 評 価 調 書 (県単独補助金除く)

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県有施設中長期保全計画に基づき、R8年度に工事を実施することにより、非常用発電機、中央監視制御装置の機能や性能の維持を図る。

館内照明のLED化により、二酸化炭素排出量及び光熱費の削減を目指す。また、展示品の保護環境の改善を図る。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (H29)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
(LED照明) H30年度～R9年度までの10年計画	0	22	34	82	100	22%

○指標を設定することができない場合の理由

(これまでの取組内容と成果)

令和 4 年 度	(LED照明) 前年度に引き続き、照明を蛍光灯からLED照明に取替えることで、消費寿命の長期化と省電力によるコスト削減を図ることができた。また、LED照明は照射光による被照射物への熱の影響が少ないとから、展示室の展示品を熱から保護することができた。
	指標① 目標：100 実績： 17 達成率： 17 %
令和 5 年 度	(LED照明) 前年度に引き続き、照明を蛍光灯からLED照明に取替えることで、消費寿命の長期化と省電力によるコスト削減を図ることができた。また、LED照明は照射光による被照射物への熱の影響が少ないとから、展示室の展示品を熱から保護することができた。
	指標① 目標：100 実績： 21 達成率： 21 %
令和 6 年 度	(LED照明) 前年度に引き続き、照明を蛍光灯からLED照明に取替えることで、消費寿命の長期化と省電力によるコスト削減を図ることができた。また、LED照明は照射光による被照射物への熱の影響が少ないとから、展示室の展示品を熱から保護することができた。
	指標① 目標：100 実績： 22 達成率： 22 %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 3	(LED照明) 二酸化炭素排出量の削減、消費寿命の長期化、省電力によるコスト削減を図るため、事業の必要性は高い。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 3	(LED照明) 消費寿命の長期化と省電力によるコスト削減を図ることができた。また、LED照明は照射光による被照射物への熱の影響が少ないとから、展示室の展示品を熱から保護することができ、事業の有効性は高い。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	
2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	(LED照明) 長寿命計画を策定し、平成30年度から令和9年度までの10年計画で計画的にLED照明に取替える予定をしており、事業の効率性は高い。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

LED照明の急速な普及に対応し、館内の照明を順次LED化していく。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

来館者の安全・安心の確保を目的とした環境の整備に努める。

来館者の方に影響のある箇所から、優先的に工事を実施していく。

来館者の方に影響のある箇所から、優先的にLED化を実施していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	